

福岡県米麦大豆生育情報

平成30年10月1日
福岡県農林業総合試験場

大豆の生育概況と今後の対策

1. 気象経過 [太宰府アメダス]

	7月10日～9月20日 (73日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	28.3	33.5	24.3	551	283
前年差(比)	+0.7	+1.1	+0.4	129%	79%
平年差(比)	+2.0	+2.5	+1.5	142%	54%

2. 農林業総合試験場における大豆の生育概況

7月10日～9月20日の気温は平年に比べ2.0℃高く、日照時間は42%多く、降水量は46%少なかった。7月中旬は降雨が全く無く、高温乾燥が続いたが、7月下旬以降、定期的に降雨がみられた。

7月10日播の苗立ち歩合は、播種後の乾燥により平年に比べて5.4%低くなった。開花期は平年並であった。9月20日時点の主茎長は平年並、主茎節数は1.0節多く、莢数は18%多く、地上部乾物重は27%重くなった。倒伏程度は無～少であった。

7月24日播の開花期は平年より3日早かった。主茎長は平年に比べて4%短く、主茎節数は0.5節少なく、莢数は17%多く、地上部乾物重は15%重くなった。倒伏程度は無であった。

3. 農林業総合試験場農産部における調査成績 (フクユタカ：9月20日調査)

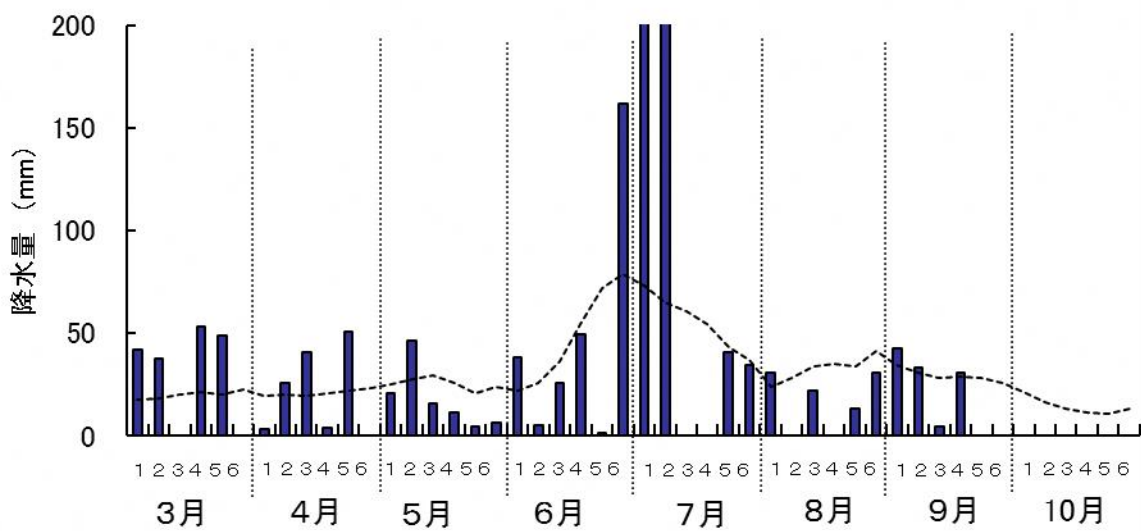
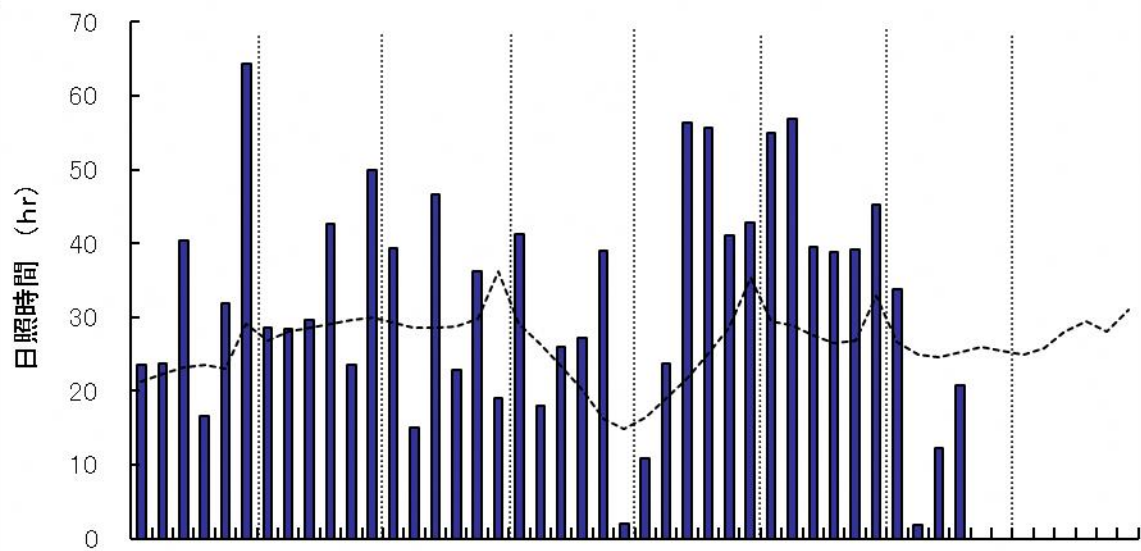
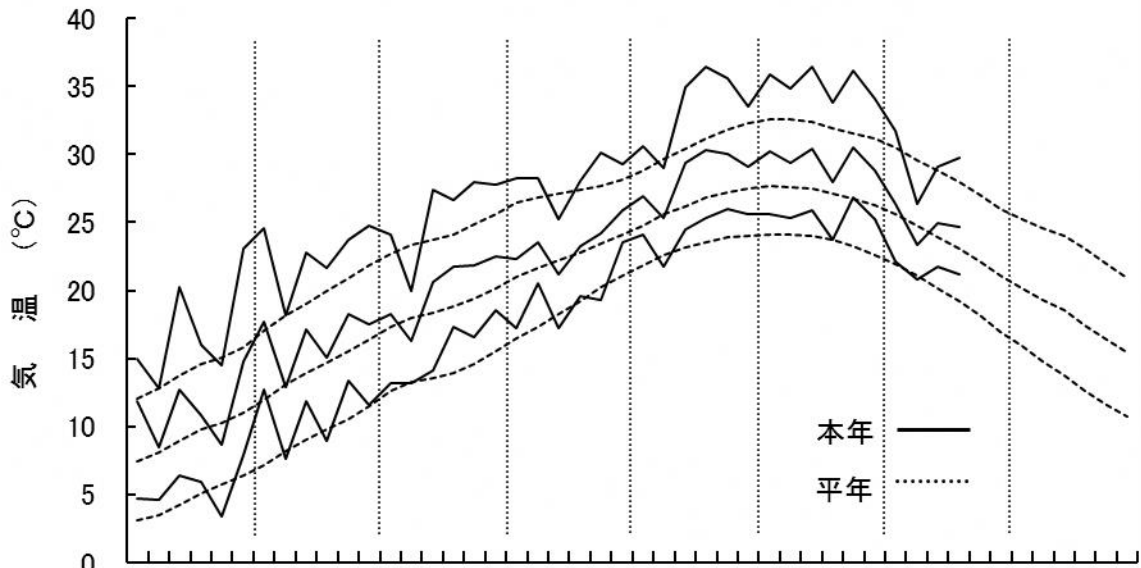
播種期	年次	苗立歩合	開花期	主茎長	主茎節数	莢数	地上部乾物重	倒伏程度
月・日		%	月・日	cm	節	/m ²	g/m ²	
7.10	本年	89.1	8.19	71	16.8	1616	846	無～少
	前年比(差)	-5.9	±0	91	+0.3	128	125	(中～多)
	平年比(差)	-5.4	±0	103	+1.0	118	127	—
7.24	本年	91.5	8.28	57	13.3	1127	563	無
	前年比(差)	-2.5	±0	102	-0.3	132	118	(多)
	平年比(差)	+5.8	-3	96	-0.5	117	115	—

- 注 1) 苗立歩合は播種粒数に対する出芽本数の割合。
2) 苗立密度 7/10：70×20cm(7.1株/m²、2本立) 7/24：70×15cm(9.5株/m²、2本立)
3) 平年値は平成20～29年の平均値。なお、7月24日播種の主茎長、主茎節数、莢数および地上部乾物重は、平成21、22および24～29年の8か年の平均値。
4) この数値は暫定値で今後変更することがある。

4. 今後の対策

ハスモンヨトウやカメムシ類の発生状況に注意し、紫斑病とともに適宜、防除を実施する。排水口の再整備や枕地作溝を行い、降雨によるほ場内の停滞水が生じないようにする。

雑草の発生が多い圃場では、特に大型雑草の抜き取り等を行い、収穫時の汚損粒発生防止に努める。



2018年(平成30年)夏作期間の気象(太宰府アメダス)